THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI

広島廿日市ロータリークラブ 会報

2018年 7・8月号 No.415

◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「五感を澄まして一歩前へ」

例会日／毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場／広島サンプラザ　TEL (082) 278-5000
会　長／川口　哲司　　幹事／上杉　昌幸

事務局
〒738-0015 広島県廿日市市本町５番１号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL（0829）31-5490　FAX（0829）31-5491
E-mail ／ office20@h-hrc.com
URL ／ http://www.h-hrc.com/

第 985 回　ホテルグランヴィア広島　2018年７月２日

会長時間

会長挨拶

会長　**川口　哲司**

川口です。本日より１年間会長を務める事になりました。

何事にも未経験、そして勉強不足ですので会員皆様のご指導と御協力をよろしくお願い致します。

クラブスローガンは「五感を澄まして一歩前へ」としました。これはRI会長の「インスピレーションになろう」地区ガバナーの「輝こうロータリーふたたび」この方針から意儀は現状打破変化新しい時代へ対応と理解して「五感を澄まして一歩前へ」と決めました。五感と言っても日常クラブ活動の中では視覚、聴覚が主となります。感度を高めて「見る、聴く」の中から必要な情報を選択して見方、考え方、習慣を変える事が出来れば進歩発展に繋がると思います。

本日より席は“くじ引き”での席順にしてもらいました。今までは任意での半固定的な傾向があったのでここで“くじ引き”での席順にしてもらいました。新旧会員が交じって会員相互の会話を進め、クラブの理解、信頼、友情を深め活性化へと進めたいと思います。席の変更は柔軟に対応します。

ここ半年で何回かの勉強会へ出席しましたが各クラブの悩みは共通で会員増強の不振、会員の高齢化でした。我がクラブでは前年３名、本日１名の新会員を迎えました。更なる加入を目指して皆様の御協力をお願い致します。今年は夜間例会インフォーマルを増やしています。より会員同士の会話を充実して懇親を深めクラブの活性化、進化変化へと発展させたいと思います。来年２月３日のRCC地区大会への大藤委員長の元、準備も始まります。

会員皆様の御協力を得て成功裏に終える様、よろしくお願い致します。

最後になりますが松野会長をはじめ理事役員の皆様、１年間有難うございました。

誕生祝

入会式　亀岡優花新会員

連続出席祝

ホームクラブ100％出席祝

卓　話

理事役員就任挨拶

会員組織常任理事　**有田　伸治**

今年度、会員組織常任委員長の有田です。

より良いお手伝いができるよう努力しますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

今年度の委員会方針と致しましては、会員増強２名以上を目標とし、特に女性会員や若い会員の入会につとめていきます。

計画と致しましては、

①入会３年未満の会員を、家族的で丁寧なインフォーマルミーティングに参加を勧める。
②全ての職業から積極的に仲間を増やす活動をする。
③ロータリー情報委員会、親睦委員会、他各委員会の協力を得ながら会員増強をする。

この多様化した時代に廿日市ロータリークラブがより良いクラブになるよう、皆様と一緒に頑張りたいと思います。

S.A.A.委員長　**石原　弘善**

方針

例会が秩序正しく運営されるように心を配り、明るい例会場の雰囲気作りをめざします。

計画

1．ゲスト・ビジターを歓迎し、各委員会と連携して例会がスムーズに運営されるようにする。
2．楽しいスマイルボックスの時間を作る。
3．座席は会員相互の親睦が図れるよう工夫する。
4．例会の出欠席の有無を明確にして、食事の無駄を無くす。

スマイルボックスは山根前委員長に支援をお願いし、前期と同じ100万を目標とします。

会長エレクト・幹事
上杉　昌幸

副会長
松本　　猛

クラブ管理運営常任理事
山根　達則

奉仕プロジェクト常任理事
渡邊　英晶

ロータリー財団常任理事
河内　正晴

副幹事
今川　　勝

副幹事
竹田　　平

第986回　広島サンプラザ　2018年７月30日

会長時間

理事会報告

副会長　**松本　　猛**

松本副会長

奨学金授与

卓　話

決算報告ならびに予算説明

新旧会計委員長　**松浦　光男**

クラブ協議会

第987回　広島サンプラザ　2018年８月20日

会長時間

会長　**川口　哲司**

入会記念バナー授与

誕生祝

卓　話

「炎の人　ゴッホ」

画家　**西谷　勝輝**　様

第988回 一期 2018年8月27日

夜間例会

活動報告

御手洗川の植樹、清掃、除草活動
2018年8月5日（日）
廿日市市宮内の御手洗川

参加者：広島廿日市ロータリークラブ、
宮内地区コミュニティづくり協議会

以前の御手洗川はホタルが舞う綺麗な川でした。2009年活動を始めた当時、汚染が進み廃棄自転車や廃棄タイヤなどの大型ゴミの他、生活ゴミの不法投棄が目立ちドブ川の異臭を放っておりました。

2009年以降23回にわたり清掃活動とさくらの植林を行ってきた結果、危険箇所の把握と市の協力もあって、広島災害時に川の決壊の恐れもありませんでした。

上流ではカワニナの放流と共にチラホラとホタルが戻ってます。

カラオケ同好会
2018年7月23日
デュエット

参加者：藤岡（２名）、河内、石塚、植田、山根、
永井（２名）、石原

国際ロータリー第2710地区2018-2019年度指導者育成セミナーに参加して

広島廿日市ロータリークラブ
2018-2019年度　幹事　上杉　昌幸

国際ロータリー第2710地区2018-2019年度指導者育成セミナーが2018年８月26日（日）にホテルグランビア広島に於いて開催されました。2710地区（広島県・山口県）の73クラブから会長・幹事各委員長が参加し、会員増強部門とロータリー財団部門に分かれてセミナーが行われました。今回の指導者育成セミナーで国際ロータリー要請での開催は一応最後になります。

ロータリー財団のセミナーは河内会員が担当されたので詳細は省きます。会員増強部門は尾道RC地区会員増強委員長の中島秀晴氏の司会で始まり同じく尾道RC吉原久司ガバナー挨拶の後、国際ロータリー第2780地区直前ガバナー大谷新一郎氏の演題「会員増強・会員維持を考える」の講演がありました。第2780地区とは神奈川県の横浜市・川崎市以外の地区です。大谷さんいわく田舎と思われるので神奈川県西部と言うそうです。

私が感じたことは、会員増強はロータリークラブを魅力のあるものにして女性会員と若い会員を軸に会員増強を図ることのようです。それと、ロータリーの多様性について言われています。ロータリーの理念、目的を理解し、規則を守ることを前提として

○さまざまな違いを尊重して受け入れる。
○変化しつづける環境を積極的に活かす。
○変化に対し効果的に対応し、お互いに交流、影響し合う。

成る程と感じます。

2017-2018年度第2710地区73RCの会員増減ついてですが、山口県計入会者123名、退会者135名で12名減。広島県計入会者185名、退会者159名で26名増となっています。

当クラブのグループ７は入会者38名、退会者36名で２名増。グループ６は入会者61名、退会者41名で20名増です。人口の違いも大いに関係していると思われます。

当クラブの2018年６月末実数はここ９年間で入会者18名、退会者17名で１名増です。殆ど変化ないですね。

セミナーは合同本会議で基調講演「ポリオ根絶への道これまでとこれから」、第３ゾーンEPNC第2690地区パストガバナー松本祐二氏の講演がありました。EPNCはEND POLIO NOWゾーンコーディネーターのことです。所属クラブは島根県益田西RCで内科医・松本医院　院長です。当クラブは今年度ポリオ寄付を一人年間90ドルとしています。

指導者育成セミナーに参加して有意義な一日を過ごせました。有難うございます。

二年目の感動
―米山研修旅行から―

世話クラブ：広島廿日市ロータリークラブ
2017年度奨学生：凌巧
学校：広島市立大学

去年の研修旅行の感動をまだ忘れることが出来ないのに、あっという間に今年の研修旅行も、もう終わってしまいました。そして、これは自分にとって最後の研修旅行だと気付いた途端に何故かとても恋しくなってきました。せっかく知り合いになっても、あっという間に時間が経って過去の思い出になってしまうこの無常を感じているからかもしれません。

今回は、去年知り合った奨学生と久々に喋ったり、今年米山奨学生に選ばれた人とお互いに自己紹介したりして、去年の思い出を巡らせながら、新たな旅を楽しんできました。

一日目、広島駅新幹線口に集合し、バスで出雲大社に向かいました。私には初めての出雲大社で、すごくわくわくしていました。実は、私が研修旅行で出雲大社に行くと聞いて、まわりの中国人の友達は「ぜひ、私の代わりに縁結びを頂いてきて」と言ってきました。結局、自分の分も含めて、お守りを五つも頂きました。昼食の「割子そば」は美味しかったです。おなかが空いていたからかもしれませんが、そばがあまり好きではない私も三段のうち二段を食べ切りました。その日は日御碕灯台、古代出雲歴史博物館、島根ワイナリを見物したあと、玉造温泉に泊まりましたが、夕食後の枕投げがとても楽しかったです。みんなでわいわい枕を投げる時、まるで修学旅行のように感じました。中国では修学旅行がないため、日本のこのような文化をずっと前から体験してみたいと思っていました。一つの夢が叶えて、本当によかったです。

二日目、有名な堀川巡りの遊覧船に乗って松江を観光しましたが、松江方言の「だんだん」はなぜか気に入りました。稲田神社について、ガイドの村上さんは親切に紹介してくださいましたが、神話の部分は少し難しく感じました。自分の日本語はまだまだだな、とちょっとした挫折感もありました。午後はカラコロ工房で和菓子作りを体験し、自分が作ったお菓子を持って、満足して広島に帰ってきました。

今思い出しても、充実感いっぱいな二日でした。この二日間で日本古来の文化を様々な面で体験することができ、５年も日本にいた私にとっても、新鮮で感無量でした。米山奨学生としての生活はもうすぐ終わりを迎えますが、これからは米山学友として米山、ロータリーのみなさまとの絆を大切にしていきたいと考えております。